



知っておきたい

# 松江市名誉市民



名誉市民章

松江市では、市民又は本市において縁故の深い方で、公共の福祉の増進や文化の進展に寄与した方を「松江市名誉市民」とし、その功績を称えています。現在24名の方にこの称号が贈られています。シリーズで1名ずつ紹介していきます。郷土の誇りとして、いつまでも私たちの心に刻んでいきたいですね。

## 第12回 新宮 保重 氏 【1890~1980】 (昭和54年12月25日 顕彰)



写真：『松江市勢要覧』より転載

八束郡玉湯村（現松江市玉湯町）で生まれる。明治41年、島根県立農林学校（現島根県立松江農林高等学校）を卒業。

大正6年に那賀郡農会技手、同15年簸川郡販売利用組合薩市場主事などをつとめ、昭和5年からは12年間にわたり簸川郡山林会長となる。その後、昭和22年に島根県森林土木組合連合会会長、同23年から島根県森林土木協会会長をつとめ戦後の造林と治山事業に貢献した。

昭和30年に玉湯村長に当選。同34年、町制施行で玉湯町が誕生し初代玉湯町長となり、3期12年にわたり町政につとめた。

在任中、玉造毎日マラソンを誘致、簡易水道を建設、昭和40年、出雲玉作史跡公園（昭和49年オープン）の建設に着手し史跡の発掘調査や保存・整備に尽力した。

昭和54年、玉湯町初の名誉町民となる。

### CHIDORI No.111



写真提供：松江市松江城・史料調査課

松江市立図書館報  
編集・発行／松江市立中央図書館  
〒690-0017 松江市西津田六丁目5-44  
☎ (0852) 27-3220  
2022年10月発行  
https://www.lib-citymatsue.jp/  
E-mail: chuou@lib-citymatsue.jp

だれでも読みたい本が無料で利用できます

## イオンとスティックに図書館がオープン

仕事帰りや買い物ついでに予約本が受取れます

絵本・児童書・育児書などが手に取って選べます

### イオン松江 サービスステーション

場所 松江市東朝日町151番地 3F フードコート内



開館時間 10:00~19:00

休館日 毎週水曜日  
毎月最終金曜日

### スティック サービスステーション

場所 松江市白瀧本町43番地 スティックビル 2F  
おもちゃの広場となり



開館時間 10:00~18:00

問合せ先 0852-27-3204

休館日 毎週水曜日  
毎月最終金曜日



イオン松江に移動図書館が巡回します！ 詳細はHPをご覧ください



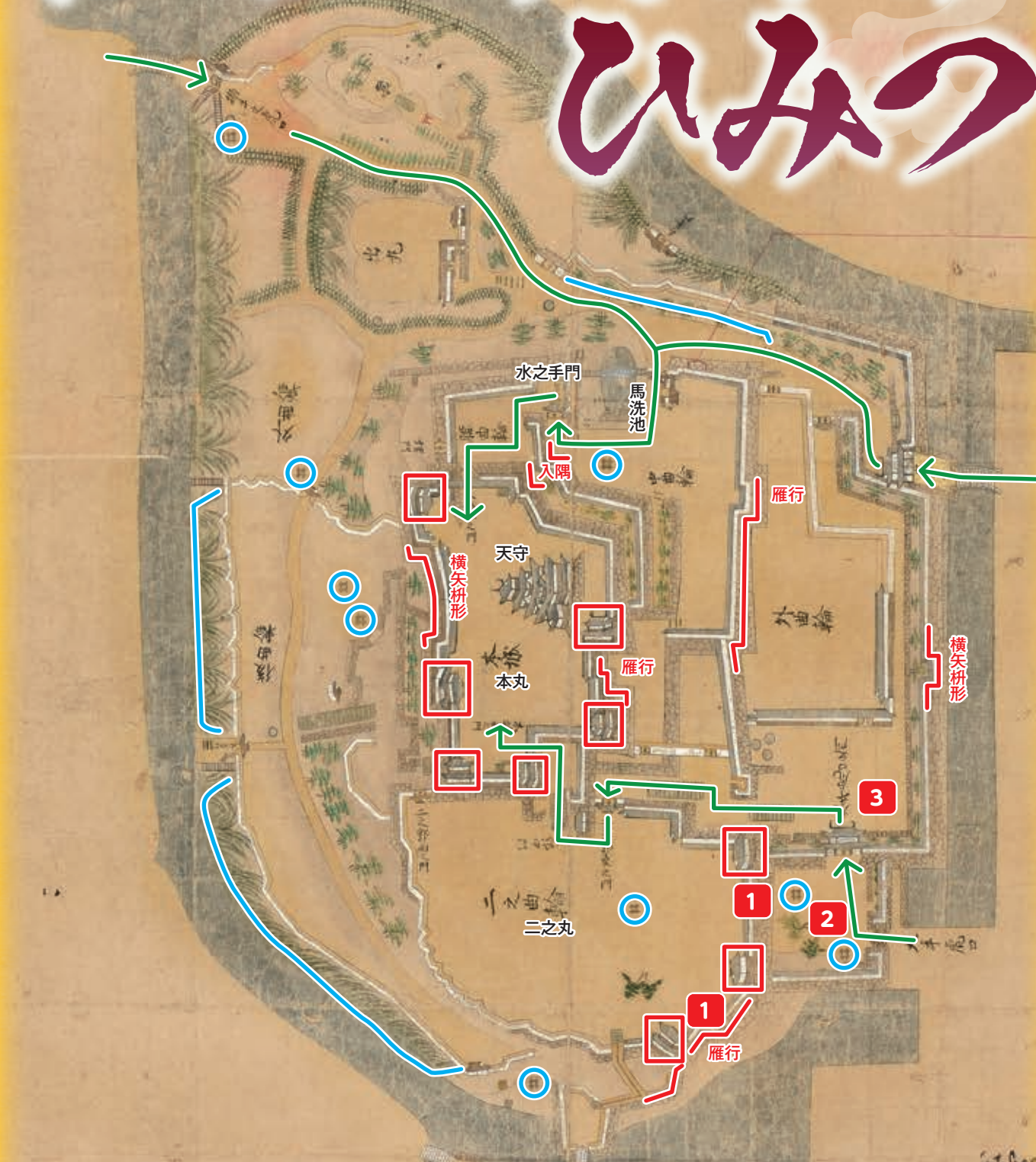
### 内容

- 表紙 松江城全景
- 見開き 敵の侵入を防ぐ！松江城郭のひみつ
- 裏表紙 郷土の葉 松江市名誉市民シリーズ「新宮 保重」  
イオン松江とスティックに図書館がオープン



～敵の侵入を防ぐ!～

# 松江城郭のひみつ



**櫓**

攻撃や監視をするための建物のことです。

本丸に6つ、二之丸には絵図に描かれていない月見櫓を含めて4つの櫓があり、鉄砲を撃つ狭間や石落としなど、様々な仕掛けがありました。櫓はそれぞれ使い方が異なり、武器をしまっておく鉄砲櫓や武具櫓、太鼓で時間を知らせる太鼓櫓などがあります。

**二之丸の瓦塀**

櫓と櫓を繋ぐ塀には、鉄砲や弓で攻撃ができるよう、交互に鉄砲狭間(正方形)と弓狭間(長方形)が合計61個あります。また、塀の手前には控え柱と塀控えがあり、敵が多い時は上に板を置き、屋根の上からも攻撃ができるようになっています。

**外曲輪 (馬溜)**

大手と呼ばれるお城の正面入口から城内に入ると、最初に見えてくる広場のことです。戦いに行く時は、ここで列を整えていました。また、馬溜には井戸が2つあるだけで隠れる所がなく、正面にある高い石垣の上にある瓦塀や櫓から一斉に攻撃できるようになっています。

**大手門**

外曲輪(馬溜)の先に建っていた2階建ての大型の門の事です。幅は約15mで左側には警備や見張りのための番所、門の両脇は高さ3mの石垣で塞がれていました。敵の侵入を防ぐ役割はもちろん、城主の威厳も表していました。

**横矢のかかった石垣**

石垣の途中に造られた出っ張りや、へこみのことです。正面だけでなく左右からも攻撃ができるようになっています。また、石垣が崩れることを防いだり、見張り台としての役割もあります。松江城では「横矢拵形」「入隅」「雁行」の3種類を見ることが出来ます。

**土塁**

土を高く積んだ土手状の高まりの事です。もともとの高さは2mもありました。一部の土塁の上には、様々な方向からも鉄砲が撃てるように、のこぎりの刃のようなギザギザの塀(折塀)が立っており、石垣の代わりに北側と西側を敵の侵入から守っていました。

**天守までの道**

城内に架かる橋を3つに限定することで敵の侵入経路を減らしています。また曲がりくねった道で勢いが弱まった敵を上から鉄砲で狙い撃てるようになっています。道中の石段も急カーブや、奥行きを広くしたり狭くしたりして歩きにくいようになっています。

**井戸**

城内のいたるところに、籠城に備えて井戸が掘られていました。現在は天守内の地階の井戸、二之丸の大井戸、馬溜内の井戸跡、馬洗池付近にはギリギリ井戸跡と呼ばれる井戸跡などが複数確認されています。

**参考資料**

『親子で学ぶ松江城と城下町』 宍道正年／著【山陰中央新報社】  
 『国宝松江城／美しき天守』 山陰中央新報社出版部、西尾克己／監修【山陰中央新報社】  
 『松江城 週刊名城をゆく 15』 大山邦興／著、日本アートセンター【小学館】  
 『日本の城語辞典』 萩原さちこ・三浦正幸／著【誠文堂新光社】  
 『図解「地形」と「戦術」で見る日本の城』 風来堂／編【イースト・プレス】  
 『松江城 宍道湖へと翼を広げた千鳥の城(名城を歩く9)』 寺田昭一ほか／編【PHP研究所】

『親子で学ぶ堀川遊覧船と国宝松江城 川面から見る城と城下』 宍道正年／著【山陰中央新報社】  
 『松江城(山陰名城叢書 2)』 中井均／編【ハーベスト出版】  
 『親子で学ぶ国宝松江城』 宍道正年／著【株式会社クリアプラス】  
 『親子で学ぶ松江城と富田城の時代』 宍道正年／著【山陰中央新報社】  
 『松江城 授業用ハンドブック 教師向け』 松江市教育委員会【松江市教育委員会】

「松江城郭古図(安永7年)(一部)」: 松江歴史館所蔵

**協力いただいた機関**

- 松江市松江城・史料調査課
- 松江歴史館

**松江城クイズ** 写真の場所はどこ？

実際に松江城に行って探してみよう！

- **井戸** 二之丸にある屋根付きの井戸
- **横矢のかかった石垣** 守りも攻撃もおまかせ！本丸の東側の石垣
- **天守までの道** 馬洗池そばにある急カーブが見どころの水之手門